

薬剤部だより No.152

山口大学病院薬剤部

2002.9.18

時間外の処方箋枚数減少せず！

今までに何度か薬剤部だよりで、緊急を除く時間外手書き処方箋を減らして欲しいとのお願いをして参りましたが、処方箋枚数は全く減少せず(全国国立大学病院でワースト5位の多さ!)相変わらずその対応に苦慮しています。今後もこのような状況が続き、改善がみられない場合は、何らかの対応策を考慮するほかなくなるかもしれません。各病棟・診療科におかれましては、緊急の場合以外は、ぜひ時間内に処方して下さるようご協力お願いします。ちなみに、平成14年度の国立大学病院相互チェックにて、安全管理のため、夜間・休日の処方箋枚数の減少対策を講じるよう求められています。

宿日直業務は救急の外来患者及び、入院患者に関する緊急の処方に対応するためのものである。

合計 62.4 枚 / 日

(入院のみ)

合計 57.0 枚 / 日

(入院のみ)

アレビアチン細粒が10%散に切り替わります！

薬剤増大より No. 149 でお知らせしましたように、10月1日より、アレビアチン細粒(1g中フェニトイン 970mg含有)をアレビアチン散10%(1g中フェニトイン 100mg含有)へ切り替えます。

今までは原末であったため、『g』入力でしたが、今後は倍散のため『mg』入力となりますので、オーダーの際は十分注意して下さい。

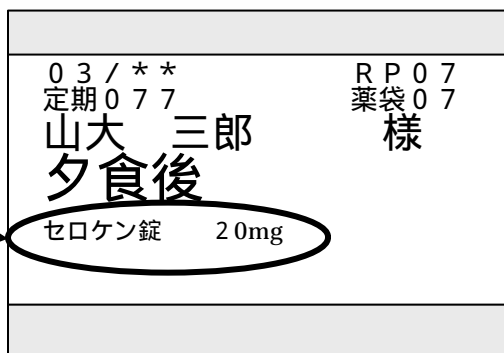
【例】 アレビアチン細粒 0.2g → アレビアチン散 100mg/g 200mg
1日2回 朝夕食後 7日分 1日2回 朝夕食後 7日分

散剤分包紙印字サービスの対象診療科を拡大しました

現在、入院患者さんを対象に実施している散剤分包紙印字サービスを、8月30日から新たに1-5病棟(1外科)にも拡大しました。このサービスを利用するには以下の注意が必要です。

- * 散剤分包紙に印字されている薬品名のmgはその薬剤の規格単位を表しており、決して、分包量(投与量)ではありません！
- * 抗癌剤や吸湿性の高い薬剤など、機械にかけられない薬剤には印字出来ません。

この印字サービスに関する問い合わせは調剤室(Tel 2669)まで。



注射薬病棟在庫及び外来救急カートの見直しは無事終了しました

毎年9月9日(救急の日)に行っている注射薬在庫の一斉見直しが、無事終了しました。ご協力ありがとうございました。夜間・休日は原則として病棟在庫から使用することになっていきますので、これらを十分ご活用下さい。なお、外来及び病棟に在庫している毒薬・向精神薬は盗難を防ぐため、厳重に管理して下さい。

九山ソフトボール大会7連覇達成！！

去る9月14日(土)に宮崎県清武町で、第24回九州山口地区国立大学病院薬剤部ソフトボール大会が開催されました。その決勝戦で熊本大学を劇的なサヨナラ勝ちで下し、大会最多記録を更新する7連覇を達成しました。

薬剤部だよりは薬剤部のホームページでもご覧になれます。

<http://www.sv.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~yakuzai/>